

7、8、9

世界の食料安全保障への貢献策

【5, 159(4, 532)百万円の内数】

対策のポイント

- 世界の食料生産・投資を促進し、我が国及び世界の食料安全保障に貢献します。
- 安定的な食料の供給確保に関する取組を支援します。

<背景／課題>

- ・世界の栄養不足人口は10億人に達すると見込まれており、世界の食料生産の促進及び農業投資の増加が求められています。また、国際的に食料安全保障が重要な課題となっています。
- ・国民への食料の安定供給を確保するためには、国内生産力を高め、食料自給率を向上させるだけでなく、輸入、備蓄を的確に組み合わせ、食料供給力を高める必要があります。

政策目標

我が国及び世界の食料安全保障への貢献

<内容>

1. 官民連携した海外農業投資支援体制の確立

食料輸入安定化機構（仮称）による農業関連情報の提供や栽培確立実証事業等を通じ、世界の食料生産・農業投資の拡大と新たなルートの開拓による輸入の多角化を図ります。

食料輸入安定化対策事業 351(0)百万円
補助率：定額
事業実施主体：民間団体等

2. APEC農業大臣会合等の開催

APECの新たな将来ビジョンに食料安全保障の重要性を位置づけるため、2010年に議長国としてのリーダーシップを発揮し、農業大臣会合を開催します。

【245(0)百万円】

3. 世界の食料安全保障に資する国際協力

アフリカの米倍增計画に加え、マメ、イモの増産計画を検討するなど、開発途上国での農業生産性向上、生産拡大を図るための技術支援を推進します。また、FAOによる農業投資情報の一元化など、世界の農業投資を促進するために必要な情報収集、仕組み作りを進めてまいります。

【農業等国際協力推進費 4, 563(4, 532)百万円の内数】

お問い合わせ先：

1. 3. の事業：大臣官房国際部国際協力課

(03-3502-5913(直))

2. の事業：大臣官房国際部国際経済課経済連携チーム

(03-3501-3731(直))

世界の食料安全保障への貢献策 (予算要求の概要)

ポイント

世界の食料生産・農業投資を促進し
我が国及び世界の食料安全保障に貢献。

背景

2050年の 人口 (推計)	現在の栄養不足 人口 (推計)	将来の食料輸入に 不安を感じている国民
91億人 (国連による推計)	10億人 (FAOによる推計)	90%超 (内閣府世論調査)

施策

○官民連携した海外農業投資支援体制の確立 【食料輸入安定化対策事業 351 百万円】

- ・ 食料輸入安定化機構 (仮称) による
農業関連情報の提供、栽培確立実証事業等を通じた
 - ①世界の食料生産・農業投資の拡大、
 - ②新たなルート開拓による輸入の多角化

官民連携



○APEC初の農業大臣会合等の開催 【245 百万円】

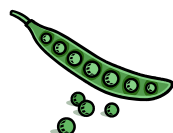
平成22年10月16-17日
新潟市にて開催予定

- ・ 世界のGDPの5割、人口の4割を占めるAPECにおける
我が国のリーダーシップの発揮
- ・ 新たな将来ビジョンに食料安全保障の重要性を位置づけ
- ・ 持続可能な農業、多様な農業の共存に関する理解の促進



○世界の食料安全保障のための国際協力 【4,563百万円の内数】

- ・ アフリカの米倍増計画に加え、マメ、イモの増産計画を検討
- ・ FAOによる農業投資情報の一元化
- ・ 農業者による自立的な水田開発・営農支援を実施 等



農林水産省大臣官房国際部